

知的財産事例

株式会社NAロット

チャレンジ精神から始まった知財経営 知財を新製品開発のチャンスにつなげる！

事業内容

業務用粘着シート「エヴァタック」各種、
「今すぐ」シリーズの開発および製造販売

知的財産権と内容

特許番号第7142199号	印刷シート（国際特許公開再表 2019/116478）
特許番号第6175737号	印刷媒体
商標登録第5623197号	今すぐ木陰
商標登録第6328523号	エヴァタック（検索用商標）・エバタック、エバ（称呼）

（2023年10月現在）

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA



代表取締役 渡邊 好造さん

挑戦を続ける企業

～株式会社NAロットとは～

日本を代表する下町・浅草の一角に本社を構える当社。代表商品「エヴァタック」は業務用の粘着シート製品である。耐熱性があるため印刷時の高温でも丸まったり、糊が溶け出したりせず、レーザープリンターで安心して使えるのが特徴である。「のり痕がつかない粘着シート」として、これまで様々な業種へと販路を拡大。「常に本物志向で取り組む」という理念のもと、現場の課題解決に向け、これまで多くの製品を生み出してきた。今後も製品の進化や発展、新商品の開発などを続けたいという。さらに、海外への商品展開を模索しており、製品と共に成長し続けている企業である。

看板商品「エヴァタック」の誕生と知財活用

2010年の会社設立当初は海外から製品を輸入し、販売するビジネスを展開していた当社。当時はインクジェット市場に目をつけていたという。しかし、すでに幅広い商品が展開されており、市場は飽和状態であったため方針を転換した。レーザープリンターや複合機など、企業がすでに持っている機器で印刷を可能とするシートの開発に着手した。こうして誕生したのが「エヴァタック」シリーズである。同製品の市場展開について中小企業診断士に相談し、「特許出願してみたら」という言葉をきっかけに、出願にチャレンジ

した。この時の中小企業診断士から弁理士を紹介され、初めて弁理士の存在を知ったという。当時は会社を創業したばかりで、自社を守るために何か強みになるものはないかと模索していた社長。素直な想いを弁理士に相談したという。その中で、エヴァタックの魅力や技術力を知った弁理士が特許の出願を社長に提案し、無事、特許を取得した。これが当社初の知財製品となった。

知財を活かした営業活動と新製品開発

当社はこれまでに独自の技術を活かした新製品を多数展開。製品展開の根底にあるのは、お客様の課題に向き合うことである。看板商品である「エヴァタック」も現場の課題を解決すべく、シリーズ製品が生まれている。実際に、ガラス面に貼物をしたが「のり残りで困っている」「結露や雨風で剥がれてしまう」といった意見をもとに製品を開発した。自社内でのアイデアはもちろん、使用するお客様の課題を製品に転換することが、新製品を多く生み出す秘訣である。また、シリーズが拡大した背景には特許取得の効果も大きい。社長は、営業を行う際に特許の取得について詳しく聞かれることが多いという。特許をPRの手段の1つとして、他社への営業機会につなげ、そこでの対話の中で新製品のアイデアを得ている。そのように生み出された製品については、開発と合わせて積極的に知財を取得し

ている。この姿勢こそが、今日の知財経営につながっている。

知財取得における苦悩



特許申請において、過去の申請品と類似していると判断され、拒絶されてしまうことがあり、他社製品・技術との違いを調べることにとても苦悩したと語った。しかし、あきらめず、弁理士へ相談。弁理士と協力し、一緒に意見書を作成をしたことで、無事登録につながった。「申請は大変なことも多いが、支援機関を有効活用することで乗り越えられる」と社長は語る。最初の特許申請に至ったのも、中小企業診断士にビジネスモデルや会社の方針を相談したことがきっかけであった。加えて、特許申請のみならず、海外への展開についても相談したことで、他社と共同で開発した製品の海外輸出や、海外市場への新規参入など、販路を拡大することに成功した。自社で分からないことは、積極的に専門家や支援機関を活用して相談したことで



代表取締役 渡邊 好造さん (中央)
取締役 営業本部長 石塚 仁克さん (左)
営業推進課 課長 数井 宏一郎さん (右)

知財取得や製品の販路拡大につながった。

知財取得を目指す経営者へのメッセージ

注目!

商品の開発を行う際には、広い市場を狙うのではなく「ニッチな市場を狙う」ことが重要だという。「大きな市場を狙わず、小さな市場に目を向け製品を作り続けたからこそ、独自性のある製品を生み出し、知財取得にもつながった。まずは、大きな市場ではなく小さな市場に目を向けて見ることも行ってほしい」と語った。また、「特許を持つことで、取引先からの信頼や自社の販路拡大につなげることができたため、今後も攻めの姿勢で知財活用をしていきたい」と意気込んだ。

代表商品「エヴァタック」

知的財産活用のポイント

特許へのチャレンジ精神で知財活用の促進へ！

当社は、特許を中心に複数の知財を取得。小規模の企業だからこそ、日頃から社内できれいに意見を出し合える環境がある。社長が最初に掲げた特許へのチャレンジ精神が社内に浸透した結果、多くの知財が生まれた。また、知財取得をきっかけに積極的に展示

会にも出展。知財の取得状況を確認されることもあるという。展示会を契機に模倣されるリスクもあるが、当社は知財取得により、そのリスクもなく、取得した知財をPRツールとして活用し、販路拡大を図っている。

COMPANY DATA

取材：2023年10月

企業名：株式会社NAロット 所在地：東京都台東区浅草5-25-6 電話番号：03-5849-4137

URL：<https://www.na-lot.com/> 創業：2010年8月 資本金：3000万円 従業員：6名

